

市民の皆さまへ

栗原市災害対策本部長(栗原市長) **佐藤 勇**



3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、日本観測史上最大となるマグニチュード9.0、震度7を記録し、東日本に大きな被害をもたらしました。幸いにして、市内では死者、行方不明者を出さずに済みましたが、電気や水道、燃料などのライフラインがストップするという大変な事態になりました。

そのような中、昼夜を問わず懸命の復旧作業にあたっていただきました関係機関の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

また、平成20年岩手・宮城内陸地震の教訓を活かしながら、自主防災組織などを中心として、市民一人一人が自助、共助の精神の下、大きな混乱もなくこの未曾有の災害に立ち向かってきたことに、深く感謝申し上げます。

燃料に関しては、沿岸部の石油基地が壊滅的な被害

を受け、供給が追いついておらず、市民生活に大きな影響を与えていることから、早急に改善されるよう引き続き国・県に働きかけてまいります。

今後においては、災害からの復興に切り替え、全力を傾注してまいります。それと同時に、県内沿岸部の被害の甚大な地域から避難されている方の受け入れを行うとともに、被災地へ支援に向かうなど、平成20年の震災において受けた恩返しをしております。

そのためには、身の回りのお世話から学校など、地域全体で受け入れ体制を整えていくことが大切であり、市民の皆様のご理解とご協力の下、今まで以上に頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

平成23年(2011)東北地方太平洋沖地震による市内被災データ

(3月28日午前9時00分現在)

■発生日時 平成23年3月11日(金)午後2時46分頃

■震源地 三陸沖 ■マグニチュード 9.0

■市内各地区の震度

震度7	築館地区
震度6強	若柳・高清水・一迫・志波姫地区
震度6弱	栗駒・瀬峰・金成地区
震度5強	鶯沢・花山地区

■人的被害

死者	なし
行方不明者	なし
負傷者	418人(うち重傷2人)

■住家被害

全壊	5棟
半壊	16棟
一部損壊	139棟
床下浸水	3棟

■その他被害

公共施設	980カ所	ひび割れなど
道路	183カ所	路面崩壊など
橋りょう	30カ所	段差の発生など
がけ崩れ	1カ所	

■避難所の開設(抜粋)

3月	開設数	避難者数	開設地区
11日	19	1,359	市内全地区
12日	49	2,832	
13日	52	2,697	
17日	20	929	築館を除く9地区
18日	6	169	若柳・瀬峰・金成地区
19日	6	103	若柳・金成地区
21日	2	29	
28日	1	18	若柳地区

平成23年(2011)東北地方太平洋沖地震発生!!

目次

災害関連情報..... 2・3

震災の影響で、本号は4ページ構成の特別紙面としました。また、ガソリン不足などの事情により、配達遅れが発生する場合があります。大変ご迷惑をお掛けしますが、ご了承願います。

災害関連情報

市からのお知らせ

市税や保育料などの納期を延長します

市は、震災が発生した3月11日から31日までに納期をむかえる市税や保育料などの納期を、4月末日まで延長します。詳しいことは、納付書または納付書が入っていた封筒に記載の担当課へお問い合わせください。

り災証明書の申請はお早めに

り災証明書は、被災者からの申請により、市が住家※の被害状況調査を行い、確認した事実に基づき発行する証明書で、各種支援の基準となるものです。交付を希望する方は、各総合支所市民サービス課へ申請してください。なお、被害状況調査前に修繕または取り壊しをする場合は、事前に連絡

をお願いします。 ※地震当時、実際に居住に用いられていた建物

をお願いします。

申請に必要なもの

- ▽被害状況がわかる写真など
- ▽印鑑
- ▽身分証明書(運転免許証など)

建物被害の区分

- ▽全壊
- ▽大規模半壊
- ▽半壊
- ▽半壊に至らない

総務部税務課 ☎(22)1121

災害による国民年金保険料の特例免除制度

被災により、国民年金保険料の納付が困難で、次の条件に当てはまる方は、申請することで納付が免除される場合があります。

特例免除が適用される条件

- 住宅、家財、住宅以外の建物、宅地、田畑、家畜、事業用の機械などのうち、流出、全壊、半壊、全焼、半焼、一部焼失、土砂流入、浸水、冠水、土砂堆積などで、最も大きい被害

を受けた財産にかかる被害金額(保険金などで補充された金額は除く)が、その価格のおおむね2分の1以上であること

特例免除申請に必要なもの

- ▽国民年金保険料免除申請書
- ▽国民年金被災状況届 ※申請書、被災状況届の用紙は各総合支所市民サービス課にあります
- ▽年金手帳
- ▽印鑑
- ▽天災融資法第2条の規定に基づく「被害農林漁業者等」の認定を受けた方は、市町村長が発行する被害認定書の写し
- ▽他の市町村から転入された方は、前住所地の課税証明書

申請窓口 各総合支所市民サービス課

市民生活部市民課 ☎(22)3211

中小企業者への支援制度

今回の地震で事業活動に支障を来している、中

小企業者の資金繰りなどに関する相談を受け付けています。

相談所開設場所

- ▽築館ふるさとセンター2階 産業経済部産業戦略課 ☎(22)1220
- 受付時間 午前8時30分〜午後5時
- ▽県庁14階 県経済商工観光部商工経営支援課 所在地 仙台市青葉区本町三丁目8・1 ☎022(21)2744
- 受付時間 午前8時30分〜午後5時
- ▽県信用保証協会本店、一部支店でも特別相談窓口を設置しています。本店営業部 ☎022(225)6421
- ※石巻支店と気仙沼支店は現在閉鎖中
- また、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、日本政策投資銀行、県内の各商工会議所、商工会連合会にも特別相談窓口が設置されています。

産業経済部産業戦略課

☎(22)1220

歴史資料保存のお願い

古い書類や骨董品、生産や生活の諸道具などは、家や地域の歴史を伝える貴重な歴史資料です。大規模な災害が起きると、これらの資料が散逸し、大切な記録が失われてしまうことがあります。

生活再建で大変な時期ですが、家族や地域の記憶をつなぐ歴史資料の保存にご協力をお願いします。

開館時間

- ▽火曜日〜金曜日 午前10時〜午後6時
- ▽土・日曜日 午前9時〜午後5時

市立図書館から

4月1日(金)から開館します。

開館時間

- ▽火曜日〜金曜日 午前10時〜午後6時
- ▽土・日曜日 午前9時〜午後5時

移動図書館車「ブック」

4月の巡回は中

止します

現在借りている本などは、次の巡回で返却願います。

資料を紛失した場合

地震のため借りていた本などを紛失した場合は、図書館にご連絡願います。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

市立図書館

☎(21)1403

平成23年度固定資産の縦覧・閲覧

次のとおりを実施します。期間中の手数料は無料です。詳しいことはお問い合わせください。

期間

- 4月1日(金)〜5月31日(火) 午前8時30分〜午後5時15分
- ※土・日曜日、祝日を除く
- 縦覧・閲覧場所 市役所1階総務部税務課または各総合支所市民サービス課
- 総務部税務課 ☎(22)1121

災害情報あれこれ

被災者が差し出す郵便物の料金を免除します

郵便事業株式会社築館支店では、災害救助法の適用を受け、被災者が差し出す郵便物の料金免除を行います。

対象地域と対象者

栗原市に居住する被災者(法人を除く)

料金免除となる郵便物

- ①「第一郵便物」や「通常はがき」または、盲人用点字のみを掲げたものを内容とする郵便物であること。
- ②速達または、電子郵便以外の特殊取り扱いとしないこと。
- ③郵便物の外部に差出人の氏名、被災地域内の住所、または居所が記載されていること。
- ④郵便物の表面の見やすい場所に「災害用郵便」と記載したものであること。

取扱郵便局

栗原市に所在する郵便局

条件によっては、郵便はがきの無償交付を受け

られる場合もあります。詳しいことはお問い合わせください。

郵便事業株式会社築館支店

☎(22)5233

みやぎ県政だより

4月号は、地震のためお休みします。

関係総務部広報課

☎022(21)2283

井戸水の水質検査を受けましょう

震災後、井戸水の飲用に關する問い合わせが増えていきます。市内には、古くから使用されてきた井戸が多数存在し、雑用水に使われています。「昔から飲んでいいるから安心」などの理由から、現在も飲用水に使用している家庭があるようです。

しかし、井戸水の水質は周辺からの汚染を受けやすく、感染症の事例もあります。

特に、乳幼児のミルクや水分補給の水は、水道水や市販の水を使い、く

れぐれも井戸水を使わないよう注意してください。

県内では、煮沸後の井戸水をミルクに使用して乳児ボツリヌス症を発症した事例がありました。

1年に1回は井戸水の水質検査を受けて安全性を確認するとともに、井戸の周囲や施設の衛生管理に努めましょう。

井戸水を検査する機関(有料)や検査項目、水質検査で飲用不適となった場合などは、栗原保健所に相談ください。

栗原市職員人事

平成23年4月1日現在の各部署長、総合支所長を紹介します。

建設部長 三浦正敏
上下水道部長 鈴木正志
医療局長 伊藤英悦
消防本部消防長 高橋睦夫
会計管理者 白鳥喜久雄
教育部長 後藤義徳
議会事務局長 中川敬一
監査委員事務局長 佐藤 仁
農業委員会事務局長 小野寺節郎
築館総合支所長 曾根光輝
若柳総合支所長 佐々木孝行
栗駒総合支所長 大場美博
清水水総合支所長 佐藤 淳
一迫総合支所長 佐藤真一
瀬峰総合支所長 高橋正人
鶯沢総合支所長 狩野幸夫
金成総合支所長 小野寺秀樹
志波姫総合支所長 成瀬和良
花山総合支所長 小野寺正志

総務部長 炭屋 一夫
企画部長 白鳥貞男
企画部理事 大塚雄蔵
市民生活部長兼福祉事務所長 小澤敏郎
産業経済部長 佐藤範男

市長 佐藤 勇
副市長 高橋 正明
教育部長 亀井 芳光
病院事業管理者 小泉 勝
総務部長 炭屋 一夫
企画部長 白鳥 貞男
企画部理事 大塚 雄蔵
市民生活部長兼福祉事務所長 小澤 敏郎
産業経済部長 佐藤 範男

建設部長 三浦正敏
上下水道部長 鈴木正志
医療局長 伊藤英悦
消防本部消防長 高橋睦夫
会計管理者 白鳥喜久雄
教育部長 後藤義徳
議会事務局長 中川敬一
監査委員事務局長 佐藤 仁
農業委員会事務局長 小野寺節郎
築館総合支所長 曾根光輝
若柳総合支所長 佐々木孝行
栗駒総合支所長 大場美博
清水水総合支所長 佐藤 淳
一迫総合支所長 佐藤真一
瀬峰総合支所長 高橋正人
鶯沢総合支所長 狩野幸夫
金成総合支所長 小野寺秀樹
志波姫総合支所長 成瀬和良
花山総合支所長 小野寺正志

総務部長 炭屋 一夫
企画部長 白鳥 貞男
企画部理事 大塚 雄蔵
市民生活部長兼福祉事務所長 小澤 敏郎
産業経済部長 佐藤 範男

市長 佐藤 勇
副市長 高橋 正明
教育部長 亀井 芳光
病院事業管理者 小泉 勝
総務部長 炭屋 一夫
企画部長 白鳥 貞男
企画部理事 大塚 雄蔵
市民生活部長兼福祉事務所長 小澤 敏郎
産業経済部長 佐藤 範男

市民生活部健康推進課

日	医 科	歯 科
3(日)	畑山医院 築館伊豆 ☎(22)2475	栗原市立花山診療所 花山字本沢 ☎(56)2013
10(日)	きくた内科クリニック 築館源光 ☎(21)1313	阿部内科医院 若柳字川北 ☎(32)6929
17(日)	伊礼整形外科 築館高田 ☎(22)0066	栗原市立瀬峰診療所 瀬峰長者原 ☎(38)3121
24(日)	達内科小児科 築館薬師 ☎(22)2655	くろさわ整形外科 一迫真坂 ☎(56)2627
29(金)	宮城島クリニック 一迫真坂 ☎(52)2881	栗原市立栗駒病院 栗駒岩ヶ崎 ☎(45)2211
		阿部歯科医院 栗駒中野 ☎(45)2126

4月の休日急患診療当番医

■診療時間：午前9時から午後5時まで ■一般患者はご遠慮ください。原則として往診はしません。
■あらかじめ、当番医に電話で症状をお伝えください。 ■休日当番医は、変更になることがあります。

平成23年(2011) 東北地方太平洋沖地震

■平成23年3月11日(金) 午後2時46分頃発生
■マグニチュード9.0 ■最大震度7(栗原市)

未曾有の大地震が 発生

3月11日(金)午後2時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。この地震による最大震度は市内で観測され、福島県、茨城県、栃木県でも震度6強など、広い範囲で強い揺れを観測しました。

また、太平洋沿岸では8メートルを超える大津波が観測され、県内沿岸部の自治体をはじめ、東北地方から関東地方の太



▲路面が崩壊し、通行止めになった市道沢辺大岡線(若柳地区)

ライフラインが寸断

市内では幸いにも、この地震による死者、行方不明者はいませんでした。が、激震や大津波の影響で公共施設備が大打撃を受け、日々の生活を支えてきた電気や水、燃料などが不足し、深刻な事態となりました。

停電 太平洋沿岸の発電所が停止したため、市内全域が停電となり、さまざまな弊害を引き起こしました。

最大震度7を市内で 観測

今回発生した地震の最大震度は、市内築館地区で観測された「震度7」でした。震度7は、気象庁が定めている現在の震度階級で最大の震度です。

ず、市内全域で断水状態となりました。

燃料不足 沿岸部に集中する燃料プラントが、大津波により甚大な被害を受けたことで、深刻な燃料不足に陥りました。

市内のガソリンスタンドでも、品切れのため休業状態が続く、開店の情報も流れると、前日から、車が長蛇の列を作りま

た。

食料品などの流通も途絶 燃料不足により輸送ができず、商品が納入されない状態が続きました。

避難生活を支えた 自助・共助の精神

ライフラインが断れたことで、市内全地区に延べ69カ所ほどの避難所を開設しました。

若柳ドリーム・パルなどの大型施設数カ所には、それぞれ500人前後の方々が避難したほか、地区集会所などを利用し、地域コミュニティの手で運営された避難所も多数あり

ました。

この未曾有の大災害を、市民同士が協力しあい、自助・共助の精神で乗り越えました。

また、姉妹都市の東京都あきる野市のほか、新潟県五泉市・小千谷市・長岡市・滋賀県長浜市・甲賀市・野洲市・大阪府・大阪市など、過去に大規模な震災を経験した自治体から、多大な人的・物的支援を頂きました。

市内の復興状況 (3月28日現在)

関係機関の多大な協力を頂きながら、ライフラインの完全復旧に向けて、懸命に取り組んでいます。

電気 東北電力の懸命な作業で、発災から1週間後の18日には、市内全地区に通電しました。

水道 電気設備などの復旧により、順次通水が始まりましたが、具大崎広域水道から供給されている高清水・瀬峰地区の一部や、花山地区の一部などで断水が続いています。

燃料 流通体系の回復に伴い、供給の兆しが見えてきました。

より被害甚大な被災地へ支援の恩返しを

東北から関東地方まで、広い範囲で災害が発生した今回の大地震。市内でも大きな被害を受けましたが、太平洋沿岸地域では、2万人を超える死者・行方不明者が発生する大惨事となりました。

市では、平成20年岩手・宮城内陸地震の際にいただいた、多大な支援への恩返しをするため、関係機関の協力のもと、「栗原市被災地支援プロジェクト本部」を立ち上げました。その中で検討した結果、県内の沿岸部自治体、特に、津波によって役場などが流されてしまい、行政組織の機能がまひ状態となった南三陸町に対し、全面的な支援を行うことにしました。

現在、職員派遣などの人的支援、食料品や生活物資を提供する物的支援などを実施しています。今後は、500人規模の避難者受け入れ支援を実施していきます。